



水野敏夫



Q: 学校給食における異物混入の件数と、その主な内容及び対応は？

A: 学校給食における異物混入については、児童生徒に健康被害を与えかねないものとして重く受け止めている。平成 24 年度から 28 年度までの 5 年間の異物混入は 18 件発生している。その主な内容は、調理機器・調理器具等の部品や破片の混入である。異物混入時の対応としては、速やかに原因の究明と機器の一斉点検を行い、機器類のゆみやゆがみの調整や、修理や新品への交換を行っている。さらに平成 28 年度は、緊急点検を行い、各施設で劣化が進んでいた「ざる」と「すくい網」をすべて新品に交換した。29 年度は、調理機器を重点的に点検し、未然防止のための更新をしていく。

風間重樹



Q: 清水区のまちづくりについて／清水庁舎が移転するとした場合、その跡地利用については病院以外の施設の可能性についても十分検討すべきではないか。

A: これからのまちづくりには、多様な都市機能がコンパクトに集積した、誰もが暮らしやすい、歩いて暮らせる生活空間の実現が必要とされている。この考え方を踏まえ、コンパクトシティの核の1つとして清水都心を位置づけている。桜ヶ丘病院の移転候補地については、病院の存続という大きな命題を最優先として、JCHOから早急な対応が求められる中で、JCHOが示す条件と、本市のコンパクトシティの考え方の双方を満たすものとして清水庁舎の土地を結論付けたものであり、他の施設を検討する余地はないと考えている。



栗田 知明

Q: サッカースタジアム建設問題について／市はJリーグから指摘されているサッカースタジアムの未充足項目をいつ頃までに改善しようとしているのか

A: 「静岡市スポーツ推進計画」において、Jリーグクラブライセンスに対応したスタジアムの整備を平成 30 年度までに決定することとしているが、国が新たに示した「スタジアム・アリーナ改革指針」を含んだガイドブックを踏まえ、さらに検討していく。

Q: 静岡市サッカー協会、「魅力ある清水を創る会」の要望書・提言書に書かれているサッカースタジアムに対し、市はどのように対応しようとしているのか。

A: 提言書等の内容については、今後、本市におけるサッカースタジアム整備方針を検討していく中で、ひとつの考え方として参考にしていく。

会派視察



由比定置網漁業を視察

志政会は 5 月 17 日、由比漁港を視察し、定置網漁の水揚げやせりの様子を見学後、漁協関係者と意見交換を行いました。由比の定置網漁では、流通の過程で魚体のサイズが不揃いであったり、漁獲量が少なくロットがまとまらないなどの理由から、低い価格でしか評価されない、いわゆる「未利用魚」が発生しています。この未利用魚を創意工夫や加工技術により有効活用し、新たなビジネスチャンスに結び付けていけるよう、会派で提言を行っていききたいと思います。



由比港せりの様子



志政会 だより しせいかい

平成29年7月発行
第7号
発行/静岡市議会 志政会
編集/志政会 広報部
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-254-2111
(内4505)
FAX 054-653-3412

志政会再発足、H29 年度体制スタート！



<p>■ 会派執行部 ■</p> <p>代表 望月 厚司</p> <p>幹事長 白鳥 実</p> <p>総務会長 佐藤 成子</p> <p>政調会長 池邨 善満</p>	<p>○委員長 ○副委員長</p> <p>■ 常任委員会 ■</p> <p>議会運営委員会 ○池邨 善満 佐藤 成子</p> <p>総務委員会 望月 厚司</p> <p>市民環境教育委員会 後藤 哲朗 白鳥 実</p> <p>厚生委員会 池邨 善満</p> <p>観光文化経済委員会 ◎風間 重樹 佐藤 成子</p> <p>都市建設委員会 水野 敏夫 栗田 知明</p> <p>企業消防委員会 ○石井 孝治 中山 道晴</p>
<p>■ 附属機関委員 ■</p> <p>競輪運営協議会委員 石井 孝治 水野 敏夫</p> <p>国保運営協議会委員 白鳥 実</p> <p>清掃対策審議会委員 池邨 善満</p> <p>都市計画審議会委員 栗田 知明</p>	<p>■ 監査・組合議会 ■</p> <p>監査委員 中山 道晴</p> <p>蒲原総合病院組合議会 後藤 哲朗</p>
<p>■ 特別委員会 ■</p> <p>人口減少対策特別委員会 池邨 善満 佐藤 成子</p> <p>中山間地活性化調査特別委員会 後藤 哲朗 白鳥 実</p> <p>総合交通政策特別委員会 石井 孝治 水野 敏夫</p> <p>清水都心まちづくり特別委員会 ◎栗田 知明 望月 厚司</p>	

6月補正



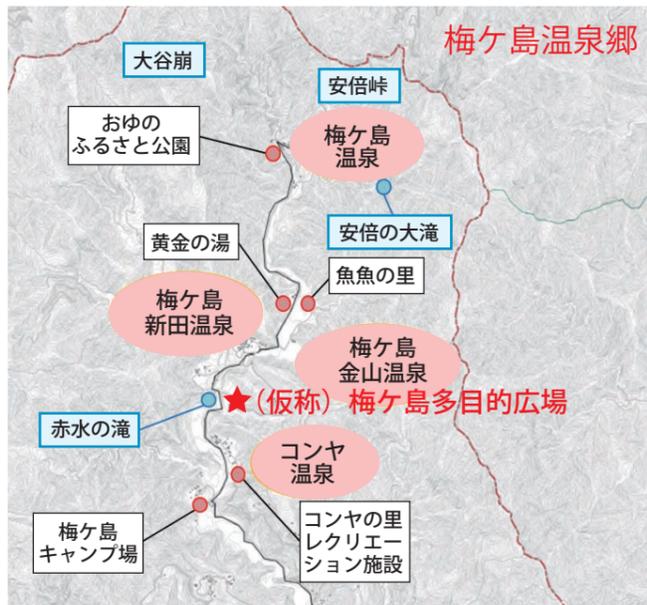
平成29年度6月補正 12億4,500万円 梅ヶ島多目的広場整備や日本平山頂公園整備などに

梅ヶ島温泉郷観光振興事業 … 2,150万円

5月に「国民保養温泉地」に指定された梅ヶ島温泉郷に、観光客受け入れの新たな拠点として、多目的広場を整備する。
多目的広場は、赤水の滝の隣接地で市が管理する草木スポーツ広場を、普通車250台、バス10台が収容できる駐車場として整備し、「オクシズ」の地場製品の販売や交流イベント会場としても使えるようにする。今秋までの完成を目標としている。



現在の草木スポーツ広場



日本平公園整備事業 … 7,260万円

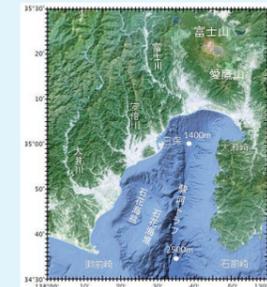
県と共同で進めている日本平山頂の公園整備で、展望回廊建設と吟望台周辺の造園工事に6月補正として7,260万円を計上する。この展望回廊は、日本平の四囲を眺望する八角形のブリッジで、オクシズ材（静岡市産のヒノキ）をふんだんに使った木組みやルーバーで作られる。（下図参照）
今年の夏に工事着工し、来年春の完成を目標としている。

展望回廊イメージ



「清水港海洋文化拠点施設基本構想」が策定されました！

静岡市は、港町・清水の新たな「海洋文化拠点施設」を計画、整備していくため、その基本的な考え方を示すものとして、「清水港海洋文化拠点施設基本構想」を発表しました。
国内最深の駿河湾の魅力などを紹介する「海洋・地球に関する総合ミュージアム」をコンセプトとし、敷地面積1万㎡規模の巨大施設を目標とします。また、施設の立地は、国際クルーズ拠点としての整備が進められている日の出埠頭背後エリアで、今後、民間からの用地買収や具体的な建設に向け、基本計画を策定していきます。



施設のテーマとなる駿河湾

■「海洋・地球に関する総合ミュージアム」のテーマ

- ①海洋の魅力が凝縮された「駿河湾」の発信（-2,500mの深さの「駿河湾」から、3,000m級の富士山や南アルプスまで高低差5,000m以上の地形・環境を捉えた発信）
- ②海洋・地球のフロンティアに触れ、海への関わり、意識を高めることができる場

■施設の特徴

- ①「水族館機能」と「博物館機能」が融合した展示
- ②東海大学、地球深部探査船「ちきゅう」の海洋研究開発機構（JAMSTEC）等の学術研究機関との連携

海洋文化拠点施設候補地（日の出埠頭背後エリア）



静岡市営斎場の使用料（火葬料）が有料になります

超高齢・多死社会の時代に入り、静岡市では平成50年まで火葬需要が増加していくことが予測されています。また、斎場運営のコストは、新清水斎場の供用開始、既存斎場の老朽化に伴い大幅な増加が見込まれます。このような状況にあつて、将来にわたり斎場を安定的に運営し、質の高い行政サービスを提供するため、使用料（火葬料）が改定されました。

平成29年9月1日より、市民の使用料が有料化され、1体につき1万円（12歳未満は6千円）となります。



新清水斎場完成予想図 本年9月供用開始予定



		H29年9月1日～	H29年8月31日まで
静岡市民	12歳未満	6,000円	無料
	12歳以上	10,000円	無料
静岡市外	12歳未満	26,000円	24,000円
	12歳以上	44,000円	40,000円